

# 心と福祉と魂の高度な専門家を 養成する教育を目指した歩み

～ルーテル学院大学における36年を通して～

ルーテル学院大学学長  
市川 一宏

1

## <創設期>・1964年 日本ルーテル神学大学開設

- ・1969年 三鷹市に移転
- ・1976年 神学科キリスト教社会福祉コース設置（～1986年229名）

## <発展期>・1987年 文学部神学科、社会福祉学科（～2013年1734名）に改組

- ・1992年 神学科キリスト教とカウンセリングコース設置  
（1993年 ブラウンホール竣工）
- ・1996年 ルーテル学院大学に名称変更  
（図書館増設）
- ・2001年 大学院社会福祉学専攻修士課程開設
- ・2004年 大学院社会福祉学専攻博士前期課程・後期課程開設
- ・2005年 総合人間学部キリスト教学科、社会福祉学科、臨床心理学科開設（～2013年330名）、大学院臨床心理学専攻修士課程開設  
（2006年 トリニティホール竣工）

## <再編期>

- ・2014年 人間福祉心理学科に再編し、福祉相談援助コース、地域福祉開発コース、子ども支援コース、臨床心理コース、キリスト教人間学コースの5コース制を開始。（～現在156名）

\* 神学科・キリスト教学科(カウンセリングコース含む) 1968年～448<sup>2</sup>名



## 本学の特徴(1)

- ・たえず教会の支援があった
- ・後援会推進委員会の方々の働きに感謝



2001年一日神学校

## 本学の特徴 (2) 隣人愛を実践する人を育てる

＜「一人ひとりを大切にする働き人」は、ただ、「一人ひとりを大切にする教育」を通して育てられるということです＞『ミッションステートメント』

現在も、その伝統を引き継ぎ、教職員が協力して、学生を育てています。



ルター「自分のためでなく、隣人のために生きて、仕える生に神の祝福があるように。」

## 本学の特徴(3)

### 専門教育の拡充を目指しました

なぜなら、社会の生活問題が複雑化、深刻化しているからです。

- ・高校中退者：約5.4万人(平成23年度)、中高不登校：約15.1万人(平成23年度)
- ・ニート：約60万人(平成23年度)、引きこもり：約26万世帯(平成18年度厚労科研調査の推計値)
- ・平成29年度の全国児童相談所における児童虐待相談対応件数は、速報値として13万3778件(前年度比1万1203件増)と公表されました。これは、過去最多で、統計を取り始めた1990年度から27年連続で増加しています。虐待死も増加しています。

本大学院は、人々が直面する生活及び心の問題に、より専門的、総合的に対応すべく、高度の社会福祉と臨床心理および関連領域の知識と実践能力を備えた、対人援助専門職の養成を目的とする。(教育・研究上の目的)

## 本学の特徴(4)

学院に付属する研究機関・研修機関が、大学・大学院・神学校教育を支えています。

- ・ルター研究所
- ・臨床心理相談センター
- ・コミュニティ人材養成センター
- ・デールパストラルセンター
- ・包括的臨床コンサルテーション・センター

## ルター研究所

### 1. 歩み

ルターの神学と働きは、本学設立の土台となっているが、本学の二番目の研究所として1985年10月に開設された。目的は、ルターの研究及びその教育啓蒙活動であり、日本におけるルター研究の中核を担っている。長年、徳善義和先生が所長を務め、その後、鈴木浩先生に受け継がれ、現在の所長は江口再起先生である。

### 2. 活動

・研究活動は、毎月一回のペースで研究会が開かれ、個人研究や共同研究の発表・『ルター著作選集』や『ルターと宗教改革事典』などの出版  
・研究所の公開講座（「ルターの生涯」、「ルター神学」、「世界のルーテル教会」等）・毎年「秋の特別講演会」や、6月第一週「ルター・セミナー」・「ルター新聞」（年2回発行）と、研究誌「ルター研究」  
\*本学の図書館と研究所文庫は、ルター研究文献の所蔵に関してはアジア地域最大規模のものとなっています。

### 3. 今年の予定

**110周年記念講演会** 会場：日本福音ルーテル武蔵野教会

日時：11月10日（日）14:00～16:00

テーマ：「ルターと日本」

講演：「ルターと日本」江口再起（ルター研究所 所長）

「佐藤繁彦とルーテル教会」青田勇（日本ルーテル教会引退牧師）

## 臨床心理相談センター

### 1. 歩み

ルーテル学院大学・大学院臨床心理専攻が、「日本臨床心理士資格認定協会」より第一種指定大学院として認められた翌年の2006年4月に、大学院生の学内実習機関として開設した。2019年で13年目を迎え、地域・近隣の方々への相談活動、教育・研究機関として活動している。2015年10月には、バリアフリー仕様の新しいセンター施設が完成し、さらに充実した活動が可能となった。

### 2. 活動

①相談活動：臨床心理相談センター：月曜日から土曜日（9時30分～17時）

田園調布ルーテル幼稚園巡回相談（年2回）、リワークグループ（1回/週）

②地域活動：オープンハウスの開催：年2回（近隣地域へのサービス活動とセンターのPR）公開講座：年1回（「ライフステージによる神経発達症の特徴とその治療」）

③教育・研究活動：学内実習施設における大学院生のグループ研修システムの構築

④その他：田園調布ルーテル幼稚園における保護者へのミニレクチャー（年1回）

海外視察・研修（シカゴ視察・研修）東日本大震災支援活動（全10回）：大船渡保育園での相談活動

### 3. 今年の予定 110周年記念事業

日時：12月14日（土）10:00～12:00 会場：ルーテル学院大学

テーマ：「一事例を多様なアプローチで考察する～これからの臨床心理学の可能性～」概要：異なる理論的な立場から一つの事例を巡り対話をします。ますます幅広い分野で貢献が求められる臨床心理学の可能性について考えます。シンポジスト：加藤純教授・谷井淳一教授・田副真美教授・植松晃子准教授・石川与志也准教授・分島芳子専任講師・松田崇志助教

## コミュニティ人材養成センター

1. 歩み 本学の社会貢献・地域連携活動の拠点として、コミュニティにおける「人に関わる人材」の養成活動を展開することを目的に、2009年度に本学附属機関として設置されました。

### 2. 活動

①人に関わる専門職に対する研修

福祉現場で働く援助者のためのスキルアップ講座

②地域づくりに関わる活動者の養成

地域福祉ファシリテーター養成研修：住民の立場から、地域の福祉課題や地域の中で支援を必要としている人を発見し、自らが持つ能力や人脈、社会資源を生かしながら、具体的な「新たな支え合い」活動を企画・実施する中核となる人々のことを指します

③地域の行政、関係機関・団体との連携事業

④地域の関係機関・施設等における本学学生の実習・体験活動等の調整

### 3. 今年の予定 110周年記念事業

**JSPSリトアニア日本二国間セミナー** 会場：ルーテル学院大学

日時：9月28日（土）14:00～17:30定

テーマ：「社会的ケアとテクノロジー」日本・リトアニアのソーシャルワーク専門職の未来を探る」

概要：日本学術会議（JSPS）の研究事業としてビリニュス大学社会福祉学部の研究者を招聘し、テクノロジーがソーシャルワーク・福祉の実践、教育、研究領域にどのような変化をもたらすのか討論します。

## デールパストラルセンター

### 1. 歩み

2012年7月に30年余の歴史を終えた「人間成長とカウンセリング研究所（PGC）」の働きを継承・発展させるために、2014年4月、デール・パストラル・センター

（Dale Pastoral Center=DPC）がスタートしました。

### 2. 活動

キリスト教信仰に基づき、人間の癒しと成長を援助する働きの研究と実践を通して、ルーテル教会に限らず、キリスト教会全体を力づけます。3つの分野で、現代社会を生きる人々の魂の問題に応えます。

### 3. 今年の予定

キャロル先生の「詩編と祈り」の講座が第二期目（9月・10月・11月・12月）を迎えています。春から行なっている牧会研究会も毎月行われています。

そして、だいたいな人を亡くした子どものための集まり（奇数月）も、研究会（偶数月）も行っています。

また、ファシリテーターの養成講座（10月の5日と12日）も行う予定です

## 包括的臨床コンサルテーション・センター

### 1. 歩み

ルーテル学院大学大学院は、臨床心理学専攻10周年、社会福祉学専攻15周年を迎えた2015年度に、大学院の機能をさらに発展させた研究・研修機関であるセンターを開設しました。当大学院の院生をはじめ、大学院内外を問わず、広く専門家に活用されることを目指してきました。開設5年目を迎え、今までにない専門家や専門機関のよりどころとなってきました。現場では、専門職として活躍できている実感を証明したいと希望する経験年数の方々が、熱心に研究や研修に取り組んでいられます。

### 2. 活動

- ①トレーニング部門
- ②臨床死生学研究部門
- ③臨床相談部門

活動メンバーの総数が、40名以上を占めて、発展しております。

### 3. 予定

**110周年記念事業** 会場：ルーテル学院大学

日 時：2020年2月29日（土）10：00～16：00

テーマ：基調講演「スーパービジョン・コンサルテーション体制 新時代への飛躍」白井幸子 名誉教授

概要：当センターの30名もの研究員が互いに支えあいながら研鑽し、その成果を発表します。

## 本学の特徴(5)

幅広いネットワークをもっていることは、大きな強みです。

- ①ルーテル諸学校
- ②るうてる法人会
- ③多様なネットワーク

### ①同窓会

②三鷹市関係：相互連携協定を結ぶ。市内大学との新たな連携

③調布市関係：相互協力協定を結ぶ。現在、慈恵会医科大学（主申請校）、白百合女子大学、桐朋学園芸術短期大学、明治大学、ルーテル学院大学で協働した取り組みを進めている。

④大学間連携関係 昨年度に協力協定を締結した九州ルーテル学院大学との大学間連携及び高大接続等の連携体制

⑤国際関係

## 1. 宝としてのルーテル諸学校の絆



### 『るうてる法人会連合設立宣言』 (2002年5月15日)

日本福音ルーテル教会は、アメリカ南部一致ルーテル教会が、「御国の到来を早める」ために、人は神の恵みによって救われ、隣人に遣わされる、というルーテル教会の基本に立って、1893年日本宣教を開始したことに由来する。

その宣教とは、聖書の教えるとおりにキリストの愛を実践する働きとして、福音を宣べ伝え（伝道）、教え（教育）、いやす（奉仕）わざであった（マタイ9:35）。

当初、このわざは日本の法制度に従って公益社団法人として行なわれた。戦後、日本の法制度の改革並びに教会自立路線の選択などの歴史的社会的変化に伴い、キリストの愛を実践する働きとして一つであるはずのものが、伝道活動は宗教法人に、教育活動は学校法人に、奉仕活動は社会福祉法人にと、分割されるに至った。

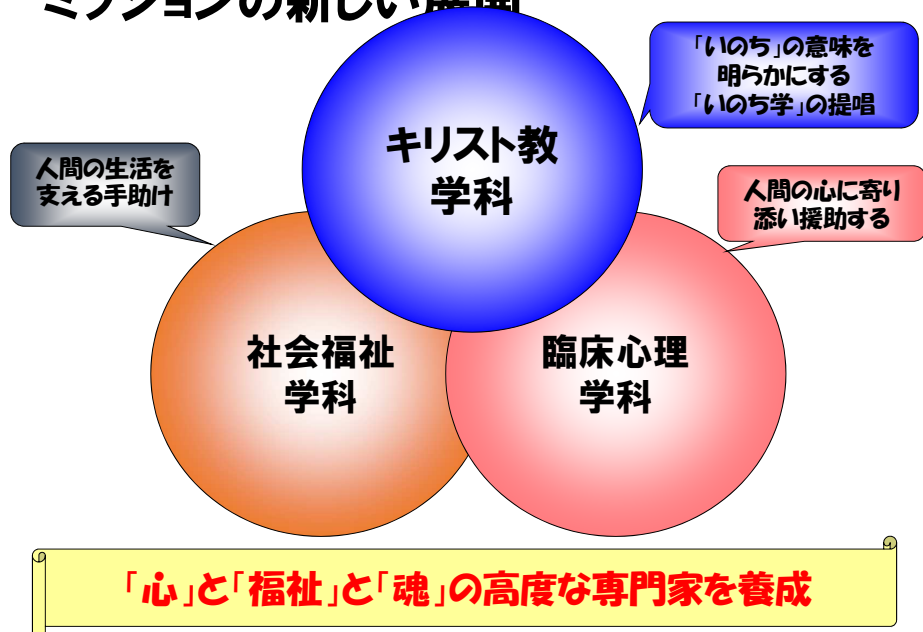
今このような歴史をかえりみて、ここに、われわれは、聖書の示すところにたちかえり、主が私達を通してなされる宣教のわざを、この世全体に向けられたものとして総合的に捉え直し、福音的信仰に立ち、伝道（宗教法人）、教育（学校法人）、奉仕（社会福祉法人）のわざに招かれた「宣教共同体」として総力を結集して新たな宣教の展開へと向かうことを決意する。

神が、われわれのこの決意を祝福し、この連合に連なる者を御旨の成就のために用いられんことを。

# 現在のルーテル学院が 目指していること

15

## ミッションの新しい展開





# 5コース制



## 一学科5コース制の特徴

- ❖ 学際的な学びの広がり
- ❖ 柔軟なカリキュラム編成
- ❖ 具体的なキャリア形成
- ❖ 107年の歴史と伝統

© YOH Shomei

18



「自分のためだけでなく、隣人のために生きて、仕える生に神の祝福があるように」ルター